

未来のための資産形成スタートブック

第1巻：お金のキホンと未来設計

～ライフプランニングの基礎～

監修：株式会社JYcapital

元三菱UFJモルガン・スタンレー証券 外国為替トレーダー

はじめに

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。

「お金のことをもっと知りたい」「将来に向けて資産形成を始めたい」——そんな思いを持つ皆さまに向けて、この「未来のための資産形成スタートブック」シリーズを執筆しました。

私は長年、三菱UFJモルガン・スタンレー証券で外国為替トレーダーとして働いてきました。その経験から言えることは、**金融リテラシーは誰にでも身につけられる**ということです。

本書では、難しい専門用語を使わず、初心者の方でも理解できるよう、お金の基本から丁寧に解説していきます。

第1章 なぜ今、金融リテラシーが必要なのか

1-1. 人生100年時代の到来

日本人の平均寿命は年々延び続けています。2023年の統計では、男性が81.05歳、女性が87.09歳となっています。

これは素晴らしいことですが、同時に「**老後の生活資金**」という課題も生まれています。

ポイント

長生きするほど、必要な生活資金も増えていきます。年金だけに頼るのではなく、自分で資産を形成する力が求められています。

1-2. 変化する社会保障制度

かつての日本では、終身雇用と年金制度により、老後の生活は比較的安心でした。しかし、少子高齢化が進む現代では、年金制度の持続可能性に不安を感じる方も多いでしょう。

自分の資産は自分で守る——この意識を持つことが、これからの時代を生き抜くために必要です。

第2章 ライフプランニングの考え方

2-1. ライフプランとは何か

ライフプランとは、**人生の設計図**のことです。

結婚、出産、住宅購入、子どもの教育、退職後の生活——人生には様々なイベントがあります。これらのイベントにかかるお金を事前に把握し、計画的に準備することがライフプランニングです。

2-2. ライフイベントと必要資金

主なライフイベントと、一般的に必要なとされる資金の目安を見てみましょう。

ライフイベント	必要資金の目安
結婚	300～500万円
出産・育児	50～100万円/年
住宅購入	3,000～5,000万円
子どもの教育	1,000～2,000万円/人
老後の生活	2,000～3,000万円

注意

これらはあくまで目安です。個人の状況や希望によって大きく異なります。

第3章 家計管理の基本

3-1. 収支を把握する

家計管理の第一歩は、**収入と支出を正確に把握すること**です。

毎月いくら収入があり、何にいくら使っているのか。これを知らずして、効果的な資産形成はできません。

3-2. 支出の分類

支出は大きく3つに分類できます。

1. **固定費**：家賃、保険料、通信費など、毎月一定額かかる支出
2. **変動費**：食費、交際費、趣味など、月によって変動する支出
3. **特別費**：冠婚葬祭、旅行など、不定期に発生する支出

まずは固定費を見直すことで、効率的に支出を削減できます。

【サンプル版はここまで】

続きは、JYcapitalの金融リテラシー講座でお読みいただけます。

本書の続きで学べること

- 第4章 貯蓄と投資の違い
 - 第5章 将来設計の立て方
 - 第6章 お金の目標設定ワークシート
-

お問い合わせ・詳細情報

株式会社JYcapital

- メール：jy.capital.k.k@gmail.com
- LINE公式アカウント：<https://lin.ee/qXmAqTy>

金融リテラシー講座の詳細は、LINE公式アカウントからお気軽にお問い合わせください。

© 2024 株式会社JYcapital All Rights Reserved.

本書の内容は情報提供を目的としており、特定の金融商品の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な判断は、ご自身の責任において行ってください。